

PM による研究開発プログラムの見直しについて

平成 29 年 1 月 26 日

革新的研究開発推進プログラム担当室

(ポイント)

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) の平成 28 年度の進捗管理として、全 16 名の PM を対象に、PM による研究開発プログラムの進捗状況及び研究費増額を含むプログラムの見直しの必要性について集中レビュー会にてヒアリングを行い、第 21 回革新的研究開発推進プログラム有識者会議 (平成 29 年 1 月 19 日開催) において見直し方針案を御確認いただいたところ。本日 (1 月 26 日) から 3 回にわたり、革新的研究開発推進会議において、研究開発プログラムの見直し案について 7 名の PM から説明を行い、次年度以降の研究開発プログラムについてご審議いただくもの。

1. 集中レビュー会の実施

ImPACT における研究開発プログラムの進捗管理については、「革新的研究開発推進プログラム運用基本方針取扱要領」(平成 26 年 2 月 27 日革新的研究開発推進会議) により、レビュー会にて PM からヒアリングを行うこととしている。全 16 名の PM を対象として、研究開発プログラムの進捗状況及びプログラムの見直し (平成 29 年度以降の研究費総額の見直しを含む) の必要性についてヒアリングを行う集中レビュー会を実施。

(開催状況)

開催日：平成 28 年 10 月 25 日、10 月 31 日、11 月 1 日、11 月 18 日、11 月 25 日、
12 月 12 日

出席者：有識者議員

外部有識者 (ImPACT アドバイザー (参考 1) : PM のマネジメントや出口戦略等の観点から、有識者議員の判断の参考となるアドバイスを行う。)

PM からの報告内容：

プログラムの進捗状況及び自己評価。プログラムの見直し及び研究費総額の変更を要望する場合は、その必要性についても説明。

2. 16 名の PM の研究開発プログラムの見直しについて

集中レビュー会でのヒアリングに基づき、ハイリスク・ハイインパクトな研究開発に取り組んでいるか、出口戦略は明確になっているかという視点を踏まえ、有識者議員と事務局がとりまとめた見直し方針案を有識者会議 (1 月 19 日) に報告し、以下の進め方にて推進会議で諮ることとされた。

- (1) 研究費総額の増額を検討している7名のPMについて
研究開発プログラムの見直し案について、下記の日程でPMから説明を行い、
審議いただく。
- 1月26日：伊藤PM、野地PM
 - 2月16日：佐野PM、佐橋PM
 - 2月26日：田所PM、山川PM、原田（博）PM
- (2) 上記7名以外に研究費総額の増額を検討しているPMについて
プログラム見直しの必要性について引き続き有識者議員と検討を行い、今後、
7名のPMと同様に、審議いただく。
- (3) 研究費総額の見直しを行わないPMについて
集中レビュー会での指摘等を踏まえ、既定の研究費総額の範囲内で適宜研究
開発プログラムの見直しを実施し、今後、有識者会議にて報告を行う。

以 上